

杜陵  
だより

第2-1号

発行: 岩手県立杜陵学園  
(児童自立支援施設)  
〒020-0124 盛岡市  
岩手県盛岡市  
川目3番1号  
電話: 019-641-3365

# 巻頭言

岩手県立杜陵学園長

今野 浩彦

先日、令和2年度の1学期の終業式が行われました。1月に国内初の新型コロナウイルスの感染者が確認された頃は、今のような状況になるとは全く思いませんでした。

1学期に予定されていた行事のうち、5月のGW帰省は見合わせ、6月の遠足は延期、7月に北海道で開催予定だった全日本少年野球東北・北海道地区大会は中止(8月に島根県で開催される予定だった全国大会も中止)になるなど、子ども達はモチベーションの維持に苦労した学期だったのではないのでしょうか。

特に野球大会は、昨年度地区優勝していることもあり、子ども達の今年にかける思いも強く、4月から本格化した練習では前向きで集中した取り組みを続けており、本当に良いチーム

になってきていました。そんな中での野球大会の中止は、子ども達にはあまりにも気の毒なことです。そこで、練習の成果を発表できる場、試合ができる喜びを感じることで、できる場を何か用意できないか職員と協議を重ねました。

その結果、県境をまたぐ移動の制限が解除されたこと、北東北では感染者がしばらく確認されていなかったことから、北東北の児童自立支援施設3施設だけでも集まって試合ができないかとの話になり、「青森県立子ども自立センターみらい」さん「秋田県千秋学園」さんに提案したところ、快く賛同いただき、7月3日に当学園を会場に野球交流会を

北奥羽児童自立支援施設野球  
交流会に向けて一丸となり練習  
にも取り組みました。

開催することができました。みらいさん、千秋さんには本当に感謝しています。

雨が続いてきた時期でしたが、この日だけは晴天で野球の神様が子ども達を応援してくれているようでした。試合はどの試合も素晴らしい内容でした。自分とチームメイトを信じて懸命にプレーを続ける子ども達の姿を見て、3施設の子とも達にはこの経験を大きな成長に繋げて欲しいと強く思いました。

今後も感染予防対策を講じながら、様々な体験等を通じて成長を支援していきたいと考えておりますので、保護者はじめ学校、地域、関係機関の皆様には、一層の御理解と御協力をお願いいたします。

全力でプレーし、北奥羽児童自立支援施設野球交流会では、練習の成果を発揮しました。

# 畑作業

杜陵学園では、作業活動の一環として、園内の畑を利用して農作業を実施しています。責任感や協調性などの社会スキルを学ぶことに加え、野菜などの作物を収穫する喜びを体感し、健全な心身を養うことを目的としています。

農作業では、土作り、畝作り、植付け、支柱立て、水やり、追肥、除草、収穫などの作業を行う必要があります。児童自らがこれら一連の作業を行っています。また、作物については、児童の要望を取り入れ、ジャガイモやサトイモなどの根菜類に加え、トマトやナス、スイカ、メロンなどの果菜類、ネギやパセリなどの葉菜類を育てています。

今年度は、児童の人数が多いことから、例

植付け作業。収穫が楽しみです。  
です。

畑の畝作り。暑い中の作業でしたが、全員で真剣に取り組みました。

年以上に多くの野菜を育て、追肥や除草など畑の手入れも順調に実施できています。また、畝作りなどの力仕事が得意な児童、除草などの地道な作業が得意な児童、野菜に詳しく様々なアイディアを提案してくれる児童など、普段とはひと味違った姿を見せてくれますし、なにより農作業を通じて多くのことを学び成長してくれています。今後も児童の成長の一助となるような農作業を続けてまいります。

(石塚)

# 保健・食育指導

保健指導担当では、毎月実施している嘱託医の診察について調整したり、理容店の方が子どもたちの髪を切ってくれる日が毎月ありますので、この日程調整等を行ったりしています。このほか、健康や衛生面に関すること（熱中症対策や、ニキビ予防、感染症予防等）について指導をしたりしています。

特に今年は新型コロナウイルスの流行もあり、毎朝検温をする等して体調管理に気を配って生活しています。子どもたちは、繰り返し洗って使えるように自分用の布マスクを作り、登校時に使用しています。寮に帰ると、しっかりと布マスクの手洗いをしている姿が見られます。指示を受けなくとも率先して洗うことのできる子どもたちも多く、とても頼もしく感じられます。

夏休みには、学園の栄養士さんや学校の養護教諭の先生から手洗いの指導や、箸の持ち方指導、ジュースを参考に砂糖の取りすぎによる弊害を学ぶ機会があります。子どもたちは、真剣なまなざしで学んでいました。この学びを学園での生活や、退園後の生活に活かして、心身ともに健康に成長してほしいと願っています。

(畑)

# 北奥羽児童自立支援施設野球交流会

今年度の杜陵学園野球部は、「ONETEAM」ゴールは「こじやない」というどこかで聞いたことのあるようなフレーズのスローガンを掲げ、活動を開始しました。野球経験者がいない中でしたが、昨年度の地区大会優勝を経験した児童が何人か残っており、その子たちを中心に、経験を生かして毎日進んで声を出し、チーム全体が高いモチベーションで活動を進めることができました。監督としては、優勝した昨年度のチームよりも総合力で勝るチームではないかと確信し、大会を非常に楽しみにしていましたが、野球大会が中止となってしまいました。

試合直前。気合を入れて試合に臨みました。

プレーだけでなく挨拶や態度なども立派でした。

中止の知らせを聞いて、監督としても何とか子どもたちに日々の練習の成果を発揮する場が欲しいと思いました。それは他県の児童自立支援施設でも同じ思いだったのかもしれない。多くの方々の理解もあり、協議の結果北東北3県の交流会が開催されることになりました。子どもたちも、大会中止を残念に思っているようでしたが、やはり子どもたちは前を向くのが早く、交流会で2勝することを目標に練習に励みました。

前日まで雨の日が続き、杜陵学園グラウンドには大きな水たまりができていました。しかし、子どもたちが積極的に水取りに参加し、当日も朝起床してすぐ外に出て少しでもいい環境で2チームを迎えようと

頑張ってくれました。あとからある児童が、「あの水取りを皆でやったことでチームが一つになれた。」と振り返っていました。まさにその通りだと感じました。

子どもたちの頑張りが実ったのか、当日は晴天に恵まれ、各試合共に白熱した試合になりました。杜陵学園は、第1試合でこども自立支援センターみらいと対戦し、それまで紅白戦でヒットがなかなかでなかった児童も本番で見事に打ち返し、打線がつながりました。大きなピンチもありましたが全員の力で守り抜き、最終的に8対6で勝利を収めることができました。その後第3試合では千秋学園と対戦し、奮闘むなしく1対5で敗れました。結果として1勝1敗で準優勝でしたが、本当にどこが優勝してもおかしくないゲームばかりで、子どもたちにとって例年の野球大会にも劣らないくらい良い経験をさせることができました。のではないかと思います。

この交流会は数多くの方々のご理解と応援があって実施することができました。今後も、スポーツを通じて子どもたちの良さを十分に引き出し、成長につなげられるよう支援致します。応援よろしくお願いたします。

(小野)

# 新任職員紹介

今年度着任された先生方を紹介します。

**園長補佐 大向 幸男**

慣れない庶務業務に戸惑うばかりですが、

児童と職員が力を合わせ、暮らしやすい施設づくりに努めていきたいと思えます。どうぞ、よろしく願います。

**主査児童自立支援専門員 小笠原 靖**

数十年前ぶりに初任地である杜陵学園に戻ってきました。以前とは、組織体制等で異なる面があります。不易流行という言葉があるように学園の伝統を守りつつ、現代の児童自立支援施設の流れにも順応していきたいです。どうぞよろしく願います。

**児童自立支援専門員 岩脇 翔斗**

学生時代に野球部とバドミントン部に所属していたため、学園のスポーツ活動がこの2種類だと聞き、楽しみです。一緒に楽しみながら子供たちの成長を見守りたいと思います。

**児童自立支援専門員 菊池 芹奈**

前任地ではデスク作業が多かったので不慣れなことも多いですが、スポーツや作業など

を子どもたちと一緒に頑張っていきたいと思えます。よろしく願います。

**児童自立支援専門員 高橋 真輝**

スポーツや畑作業など、様々な経験を通して、子ども達と一緒に自分自身も成長していきたいと思っています。どうぞよろしく願います。

**分校・分教室教諭(保健体育) 熊上 潤**

子どもたちの良いところを見つけ、信じ認め、成長を支えていく姿勢を大切にしていきたいです。よろしく願います。

**分校・分教室講師(国語) 新沼 雄輝**

今年、北杜分校に来ました。国語を担当します。新沼雄輝(にいぬま ゆうき)です。授業を通して、生徒たちの学力向上を目指したいと思えます。よろしく願います。

## 児童入所状況

月	4	5	6	7	延計
月初人数	9	10	10	10	
月中入所	1	0	0	2	12
月中退所	0	0	0	0	12

(単位:名)

皆様からのご意見・ご感想はインターネットで受け付けております。

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=423&ik=3&pnp=17&pnp=61&pnp=423>

## 主要行事(8月~12月)

- 8月：2学期始業式、夏休み明け実力テスト
- 9月：中間テスト  
北奥羽児童自立支援施設スポーツ交歓会
- 10月：学習発表会  
修学旅行
- 11月：遠足
- 12月：2学期終業式、クリスマス会、冬季一時帰省

## 編集後記

不慣れた編集作業でしたが、なんとか今年度初の杜陵だよりを完成させることができました。編集作業を通して、今年度の出来事を振り返る良い機会となり、楽しい作業となりました。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、例年行われる行事も中止となる中でしたが、できる行事を一生懸命取り組むことができ、子どもたちも大きく成長することができたと感じます。今後も様々な行事が控えておりますので、子どもたちの充実した日々をお伝えできればと思います。

(高橋)